



2024 年 D1Grand Prix

Rd.5&6 EBISU

参戦報告書



SHIBATA
RACING TEAM

採点資料

D1 独自の機会採点システム DOSS が採点の基準

発足初年度から審判員による主観採点を採用してきた D1 グランプリシリーズだったが、より公平で公正な採点方法を求めて機械採点システムの開発を進めていた。

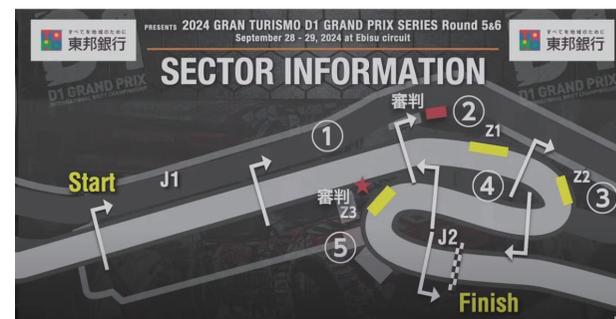
そして長い開発期間と試験期間を経て 2013 年からシリーズ戦へと導入されたのが、D1 独自の機械採点システムである『D1 オリジナルスコアリングシステム (通称 :DOSS= ドス』だ。DOSS では、走行マシンの車速や角度、そして角度の安定性や振り返りの鋭さなどを数値化して得点化。わずかな車速変化や角度の乱れが特典に影響することもあり、これまでよりも繊細かつスムーズなドライビングが要求されるようになった。そして、DOSS の得点化プログラムは最適化されつつ年々進化していき、2019 年からは追走にも導入されることとなった。先行車は単走とおなじようにハイレベルな走りが要求され、後追いもただ接近すればいいだけでなく、DOSS の得点が出せる走りが要求される。追走でも DOSS が導入され、ここがさらに洗練されていくことで、D1 グランプリシリーズは新たなステージへと進化する。

単走 指定ゾーンの追加で視覚的に走りの良し悪しが判別可能に

単走での採点は、競技区間を振り出しや旋回、振替しといった 4~5 つのセクターに分割し、それぞれの重要度によって第 1 セクターは 30%、第 2 セクターは 20% というようには配分が決定され、すべてのセクターの合計が特典となる。

また、2018 年からはコース内であればどのようなラインを通過しても原点されることはなかったが、2019 年からはコース上に数カ所の指定ゾーンが設けられ、ここを通過しなければいけなくなった。

つまり、理想的なラインを通過することが高得点を出すことにつながるのはこれまで通りなものの、指定ゾーンを追加することで視覚的にも良し悪しがわかりやすくなった。なお、指定ゾーンを通過できなかった場合の原点はマイナス 1 点 ~3 点。ほかにも、振り出し時の 2 度降りやドリフトアンダーはマイナス 5 点、コース外走行は 1 輪 ~ 2 輪の場合はマイナス 2 点で、3 輪 ~ 4 輪の場合はマイナス 5 点という原点。J1 ~ J3 区間での円滑さを欠く走行やコース上の設置物への接触なども減点の対象となる。選手たちにとってはこれまで以上に繊細なマシンコントロールが要求されるようになった。



DOSS の導入で後追いはよりレベルの高い走りが求められる

追走では、単走とおなじく車速や角度に安定度といった要素が求められる先行車に対し、後追い車はどれだけ合わせつつ接近できるかが求められる。

単走とおなじ要素が評価項目となるため、これまで先行車両には DOSS で算出された得点がベースとなっていたが、2019 年シリーズからは後追いにも DOSS の得点がベースとして採用され、これに接近度といった項目を審判員が主観で判断した得点を合計し、それが後追い車の総合得点となる方式となった。

後追い車は、車速や角度に安定度といった要素を揃えつつ接近しなければいけないということは変わらないものの、DOSS が採用されたことによってその基準がよりシビアに。角度のないまま接近すると、接近ポイントは与えられるものの、DOSS 得点が低くなって勝てないし、DOSS 得点を狙って相手から離れて自分のドリフトをしても、接近加点が取れないので勝てない、となる仕組みだ。

後追い車の接近ポイント (コースにより 6~12 点) は、先行車との距離に応じてセクターごとに付与される。また、後追い車が先行車から離れすぎて接近ポイントがまったく得られなかった場合はノーグッドチャレンジ (先行者に接近できていない状態) と判断されることがあり、その減点はマイナス 2 点となるため、つねに攻めることも要求されるようになったのだ。

参戦車両

車両：GR86
エンジン：VR38 4100cc 1300hp
タービン：GT75100BB
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR20(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 20 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

蕎麦切広大

1996年3月22日生(28歳)

神奈川県出身

身長：165cm

参戦レース：D1GP

2024年D1GP (Rd.5&6終了時点)

ドライバーズランキング 4位

単走シリーズランキング 4位

実績

2018年9月ドリフトキングダム Rd.6 チャレンジエキスパートクラス 準優勝 D1LIGHTS 出場権獲得

2019年3月MSC チャレンジ Rd.2 エキスパートクラス 優勝 FORMULA DRIFT JAPAN 出場権獲得

2019年D1LIGHTS 年間ランキング13位 D1GP 出場権獲得

2020年D1GP ドライバーズランキング18位 単走シリーズランキング13位 シリーズ新人賞受賞

2021年D1GP ドライバーズランキング14位 単走シリーズランキング9位 第7戦単走優勝

2022年D1GP ドライバーズランキング7位 単走シリーズランキング2位

2023年D1GP ドライバーズランキング5位 単走シリーズランキング2位



No.31 蕎麦切 広大

Rd.5 9/28 天候 晴

今回エビス西ラウンドでは木曜と金曜日が練習日となります。前回の筑波ラウンドからの改善点を研究してきましたので木曜日はマシンのセットアップを重点的に行いより自分に合ったセットアップを行う事が出来ました。翌日の金曜日の練習では DOSS 点も確認してまずまずな点数が出てましたので単走に向けて組み立てていきました。



単走

1 本目から練習通りに走ることが出来て得点は 98.5 点。まず予選通過は確実な点数を出す事が出来たので 2 本目は更に点数を上げられるように意識して走りましたがイマイチあがらず 98.3 点でした。単走予選順位は 2 位となります。

31		K. SOBAGIRI		REPLAY	1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	160.36 km/h	
			29.65	98.5	
			19.39		
			19.51		
			10.03		
			19.87		
PENALTY					

31		K. SOBAGIRI		REPLAY	1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	158.9 km/h	
			29.56	98.3	
			19.88		
			19.48		
			10.01		
			19.32		
PENALTY					



追走 Best 16 久保川澄花選手

まず先行は自分の走りをする事を意識して走りましたが後追いの久保川選手がクラッシュしてしまい 1 本目で決着がつき勝利する事が出来ました。



追走 Best 8 藤野秀之選手

藤野選手とは過去対戦経験は何度かありますが一勝も出来てなかったので今回こそは勝ちたいととても気合の入る対戦になります。1 本目では後追いの藤野選手に少しアドバンテージを取られましたが 2 本目でかなり気合を入れて後追いを走り、藤野選手にもミスがあった為、勝利する事が出来ました。



追走 Best 4 ヴィトー博貴選手

ヴィトー選手とは初の対戦となりましたが先行では自分の走りをする事が出来て、ヴィトー選手はついてくる事ができず、後追いではいい距離感での追走をする事が出来て勝利する事が出来ました。



追走 決勝戦 松山北斗選手

久しぶりの決勝戦という事で気合いもとても入りました。後追いからのスタートになりましたので全力で後追い加点を取れるだけ取りにいき、先行ではコースオフなどのミスが少しありましたがギリギリの点差で勝利する事が出来ました。よって Rd5 では優勝する事が出来ました。



前回の筑波ではかなり悔しい結果でしたし、ポテンシャルの高い GR86 をもっと自分に合わせてる為にはどうしたら良いか？？というのを色々考えて対策して挑んだラウンドとなりましたがマシンのセットアップやコースのゾーン設定などもイメージしていた通りの仕上がりになった為自分の走りをする事が出来てとても良かったです。翌日に控えてる Rd6 ではもっといい走りをする為に備えていきます。

No.31 蕎麦切 広大

前日の Rd5 では優勝する事が出来ましたが優勝したラウンドの次ラウンドでは予選落ちしてしまうジックスが自分の中にあっただため練習走行からしっかりと守りに入らず思い切り走りました。



Rd.6 9/29 天候 曇り

単走

単走の作戦としては1本目は予選通過出来る点数をまず出して2本目で100点を狙っていく作戦で走った結果作戦通りに走ることができて2本目で99.2点を出す事が出来ました!! よって単走は優勝する事が出来ました。

31		K. SOBAGIRI		3
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	159.53 km/h
			29.80	98.3
			19.56	
			19.62	
			9.92	
			19.41	
PENALTY				

31		K. SOBAGIRI		1
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	161.66 km/h
			29.84	99.2
			20.11	
			19.55	
			9.94	
			19.77	
PENALTY				



追走 Best 16 笹山栄久選手

まずしっかり先行を走ることができ、後追いの笹山選手よりもグリップ力が勝っていましたのでその差を活かした戦いをする事が出来て勝利しました。



追走 Best 8 藤野秀之選手

Rd5でも対戦させて頂きましたのでお互いに走りのリズムは掴めてましたので全力で挑んだ結果藤野選手が後追い時に減速ミスがあり僕と接触があってハーフスピンしてしまい大きくアドバンテージを得る事ができ、変わって2本目での後追いは近い距離で走ることが出来たので勝利する事が出来ました。



追走 Best 4 日比野哲也選手

同チーム対決となりましたがお互いに全力で走って良い物をお客様に見せよう!と決めて走りましたが日比野選手のマシンにトラブルが出てしまいお互いの車のペースが変わってしまった為日比野選手が本来の走りをする事が出来ず、僕が勝利する事となりました。



追走 決勝戦 中村直樹選手

決勝戦という最高の舞台でとても尊敬している選手の1人の中村選手と対戦できるという事でとても気合いも入ってましたし何よりも楽しんで走る事が出来ました。先行時では後追いの中村選手のミスがあり一本目ではほぼ同点という結果でした。二本目の後追いでは攻めの後追いをしようと心がけましたが完璧なビタビタな後追いをすることは出来ませんでした。がほぼ同点に近い距離で走る事が出来て結果はなんと優勝する事が出来ました!!



苦手意識のあったエビス西ラウンドではありましたがなんと2連勝する事が出来たととても嬉しかったです。この結果を得たのは今年の前半戦では僕自身の不調続きでしたがそれでもたくさんの応援をしてくださった皆様と一緒に掴んだ2連勝です。見てくださる皆様の前で自分の走りをする事が出来たととても嬉しかったです。D1GPはこれから後半戦になりオートポリスとお台場ラウンドが控えていますので両ラウンド共攻めの走りでチーム一丸となり頑張っていきますのでこれからもよろしくお願いいたします。翌日に控えてるRd6ではもっといい走りをする為に備えています。

参戦車両

車両：GR86
エンジン：2JZ 3400cc 940hp
タービン：HKS GT2
コンピューター：LINK
ミッション：ALBINS
タイヤ：SHIBATIRE REVIMAX R23 265/35R18(Front)
SHIBATIRE REVIMAX R23 285/35ZR19(Rear)
ホイール：SHIBAHWHEEL 18 インチ off +25(Front)
SHIBAHWHEEL 19 インチ off +12(Rear)
エアロ：SHIBATA
足回り：車高調 JIC ナックル WISEFAB
キャリパー ENDLESS



ドライバー

日比野哲也

1974年4月10日生(50歳)

愛知県出身

身長：181cm

参戦レース：D1GP、Formula Drift Japan

2024年D1GP (Rd.5&6 終了時点)
ドライバーズランキング 2位
単走シリーズランキング 2位

実績

2018年D1CHINA 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズチャンピオン

2019年DCGP(中国) 単走シリーズチャンピオン 追走シリーズ2位

RDS GP(ロシア) 総合シリーズ3位

2020年D1GP ドライバーズランキング4位 単走シリーズランキング5位

2021年Formula Drift Japan シリーズランキング3位

2023年D1GP ドライバーズランキング7位 単走シリーズランキング11位



No.18 日比野哲也

【前々日練習日】

ギア比を変更して、4速進入⇒3速進入に変更しました。リアタイヤのエア圧も、単走用と追走用でテストしました。

【公式練習日】

DOSS 点が 99 点出てましたので、自信もってミスらず走れば追走に進出できそうでした。もし本番で決まれば、自分も蕎麦切選手も優勝できると思いました。



単走

単走本番一本目でミスしてしまい、二本目で攻めきれませんでした。
結果は、4位で予選通過しました。

18 T. HIBINO				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	150.69 km/h
			29.47	
Z2			18.10	
			18.55	
			9.96	
			19.19	
PENALTY				

94.3

18 T. HIBINO				RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	149.44 km/h
			29.45	
			19.72	
			19.58	
			9.92	
			19.50	
PENALTY				

98.2



追走 Best 16 山中真生選手

先行からスタートで、良い走りことができました。97.3:104.4
後追いでは、良い追走ができました。105.7:98.1
合計 203.0:202.5 で勝ちました。



追走 Best 8 松山北斗選手

先行からスタートで、良い走りことができました。99.0:102.3
後追いでは中古タイヤで走ったので、グリップが足りなく追い付けませんでした。94.6:96.2
合計 193.6:198.5 で勝負しました。
単走 4位 追走 5位



No.18 日比野哲也

Rd.5 9/28 天候 晴



単走

単走本番一本目で 98.0 出たので、二本目で攻めました。
パッキーン進入をしてカッコ良い走りでしたが、アウトゾーンを外してしまい 96.4。
結果は、5 位で予選通過しました。

18		T. HIBINO		RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	5
			161.89 km/h	
			29.76	
			19.44	
			19.58	
			10.06	
			19.20	
PENALTY				

18		T. HIBINO		RANK
ZONE	LINE OFF	JUDGE AREA	Sec. Point	5
			157.78 km/h	
			29.37	
Z2			19.92	
Z3			19.14	
			9.99	
			20.02	
PENALTY				



追走 Best 16 横井昌志選手

先行からスタートで、良い走りができました。97.6:107.8
後追いでは、良い追走ができました。104.2:92.2
合計 201.8:200.0 で勝ちました。



追走 Best 8 松山北斗選手

後追いからスタートで、良い走りができました。96.9:107.5
先行では、少しコースアウトしましたが無事に走りきりました。79.9:93.0
合計 176.8:200.5 で勝つことができました。



追走 Best 8 蕎麦切広大選手

後追いからスタートで、全く追い付けず走り切りました。96.3:100.2。
先行では、良い走りをしましたが少し戻りました。108.9:92.1
合計 205.2:192.3 で負けました。
(日比野号は、エンジントラブルでした。)
単走 5位 追走 3位



今回のエビス戦では・・・最後にトラブルありましたが、ほぼノーミスで走れました。メカニックさんが、しっかりメンテナンスしてくださるからだと思います。
蕎麦切広大選手の2連勝には、感動しました。チームのポイントが1位になったので、このままチーム優勝狙いたいと思います!!
まだ4戦ありますので気を抜かず、シリーズチャンピオン目指して頑張ります。

2024年D1グランプリシリーズランキング

2024年ドライバーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-STYLE
2	18	日比野 哲也	SHIBATA RACING TEAM
3	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING
4	31	蕎麦切 広大	SHIBATA RACING TEAM
5	77	松山 北斗	TEAM TOYO TIRES DRIFT 2
6	23	村上 満	Repair Create × Result Japan
7	70	横井 昌志	TEAM D-MAX RACING
8	80	田野 結希	TEAM D-MAX RACING
9	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT
10	2	田中 省己	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
11	78	上野 高広	TEAM VERTEX NEXZTER D2D
12	56	森 孝弘	GP SPORTS × GreenTop
13	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing
14	90	山中 真生	ウエインストヨタ神奈川 × 俺だっ！レーシング
15	88	川畑 真人	TEAM TOYO TIRES DRIFT
16	47	米内 寿斗	GP SPORTS × GreenTop
17	93	加納 広貴	平野タイヤ ★ ハードコア ★ ロケットパニーレーシング

2024年単走シリーズランキング

Rank.	No.	Driver	Team
1	99	中村 直樹	TEAM VALINO × N-STYLE
2	18	日比野 哲也	SHIBATA RACING TEAM
3	23	村上 満	Repair Create × Result Japan
4	31	蕎麦切 広大	SHIBATA RACING TEAM
5	77	松山 北斗	TEAM TOYO TIRES DRIFT 2
6	70	横井 昌志	TEAM D-MAX RACING
7	80	田野 結希	TEAM D-MAX RACING
8	66	藤野 秀之	TEAM TOYO TIRES DRIFT
9	87	齋藤 太吾	FAT FIVE RACING
10	2	田中 省己	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
11	47	米内 寿斗	GP SPORTS × GreenTop
12	90	山中 真生	ウエインストヨタ神奈川 × 俺だっ！レーシング
13	56	森 孝弘	GP SPORTS × GreenTop
14	78	上野 高広	TEAM VERTEX NEXZTER D2D
15	93	加納 広貴	平野タイヤ ★ ハードコア ★ ロケットパニーレーシング
16	7	松井 有紀夫	TEAM RE雨宮 マツモトキヨシシバタイヤ
17	98	ヴィトー 博貴	DRIFT STAR Racing

2024年チームシリーズランキング

Rank.	Team
1	SHIBATA RACING TEAM
2	FAT FIVE RACING
3	TEAM VALINO × N-STYLE
4	TEAM D-MAX RACING
5	TEAM TOYO TIRES DRIFT 2
6	TEAM TOYO TIRES DRIFT
7	TEAM VERTEX NEXZTER D2D
8	Repair Create × Result Japan
9	SEIMI STYLE SHIBATIRE DRIFT
10	ウエインストヨタ神奈川 × 俺だっ！レーシング
11	DRIFT STAR Racing
12	GP SPORTS × GreenTop
13	レーシングサービス ワタナベ
14	平野タイヤ ★ ハードコア ★ ロケットパニーレーシング
15	TOP Team G-meister
16	広島トヨタ team DROO-P
17	27WORKS

D1 事務局 イベント報告

正式呼称：2023 GRANTURISMO D1 GRAND PRIX SERIES Round 5 & 6 EBISU

開催場所：福島県・エビスサーキット 西コース

主催：株式会社サンプロス

競技方式：ドリフト競技

公認：一般社団法人・日本自動車連盟（JAF）

参加者数：D1GP 総エントリー42台 / 出走39台

天候：28日；ドライ29日；ドライ

延動員数：合計 4,050名（3日間合計、関係者含む）

次戦；10月26（土）、27日（日）大分県・オートポリス国際レーシングコース

